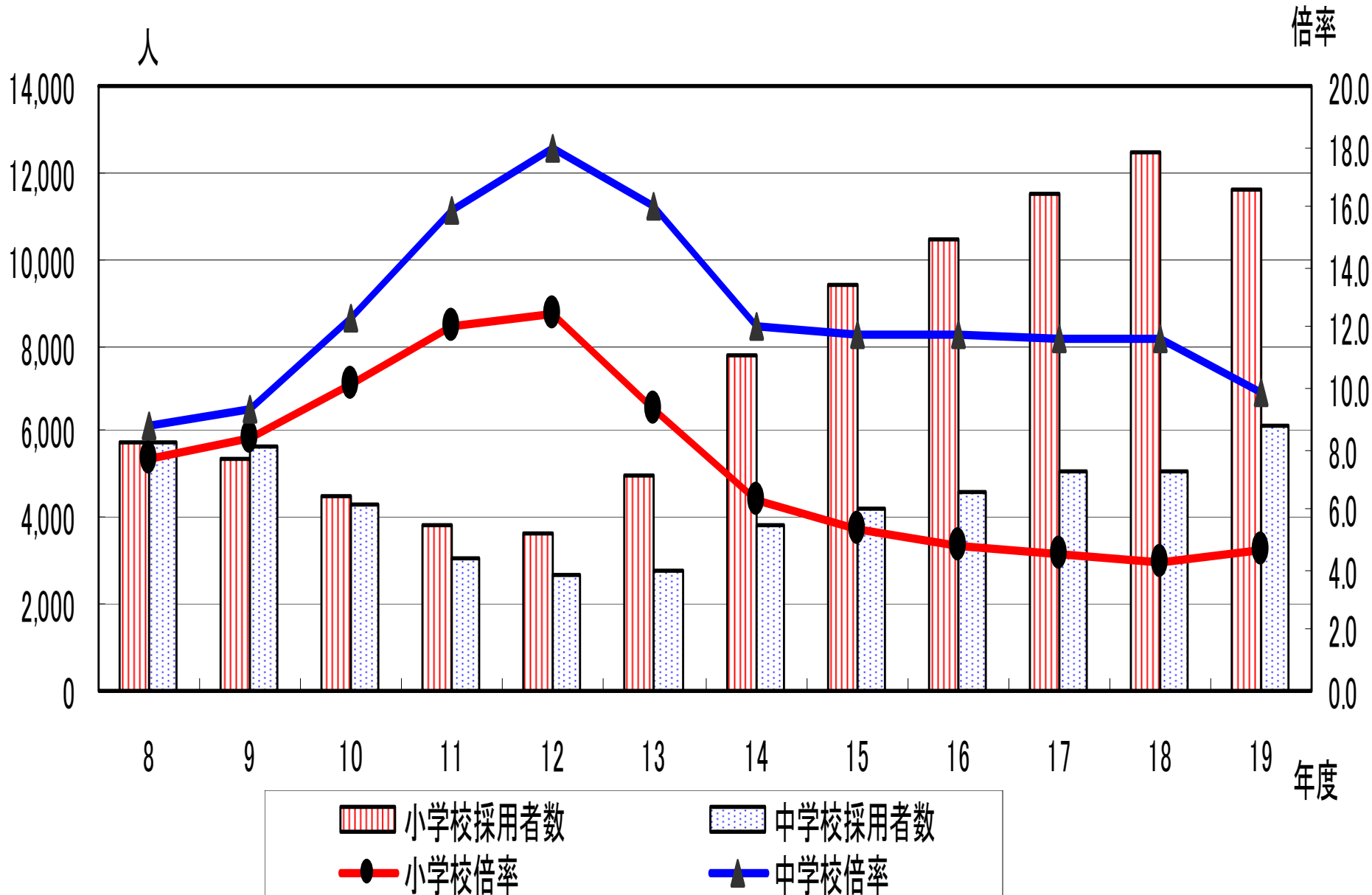
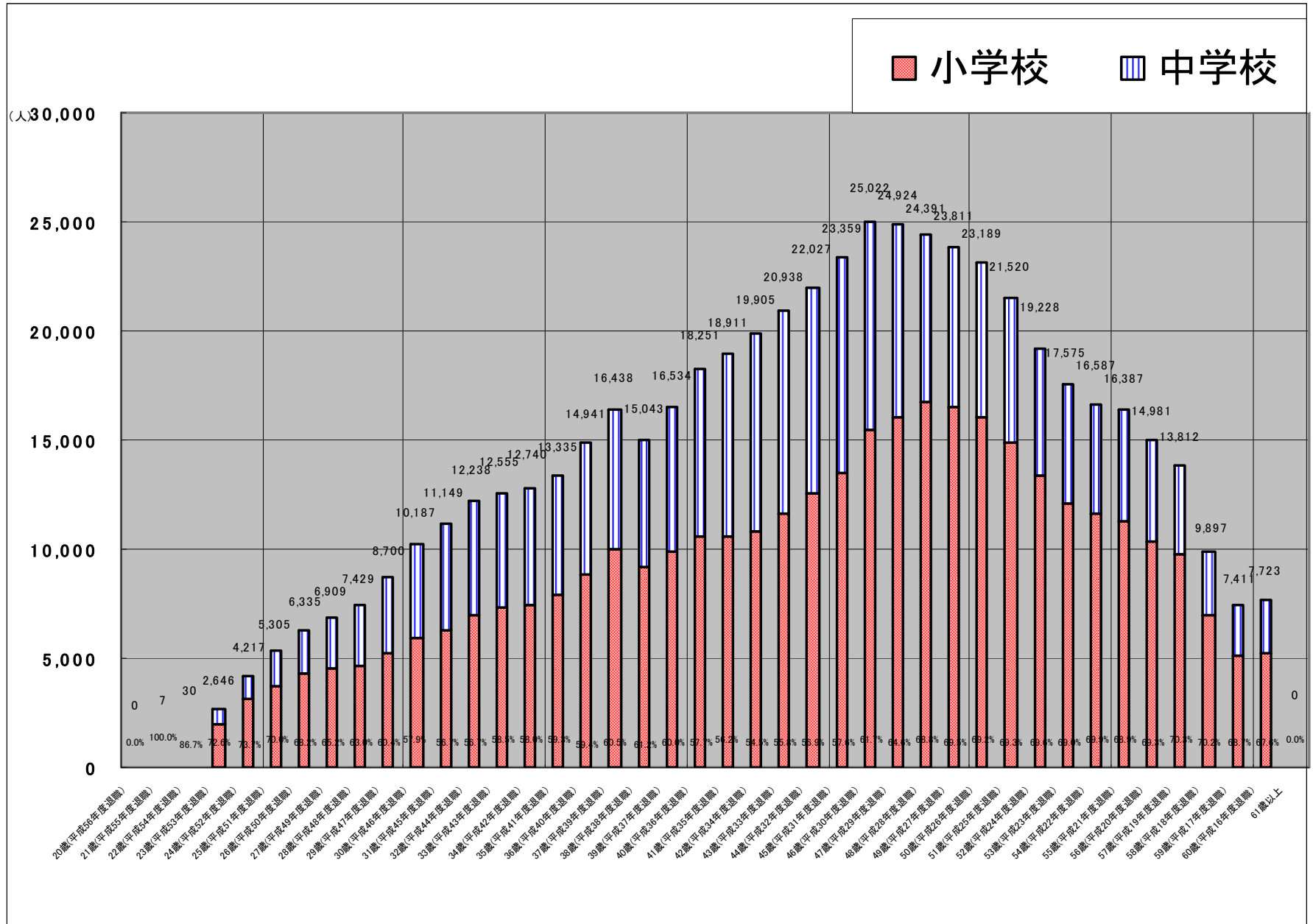


公立小中学校教員採用者数及び倍率の推移(全国)



公立小・中学校教員の年齢構成 (H17.3)



教員養成の現状

(平成19年度採用(カッコ内は18年度))

【倍率の低い都道府県】

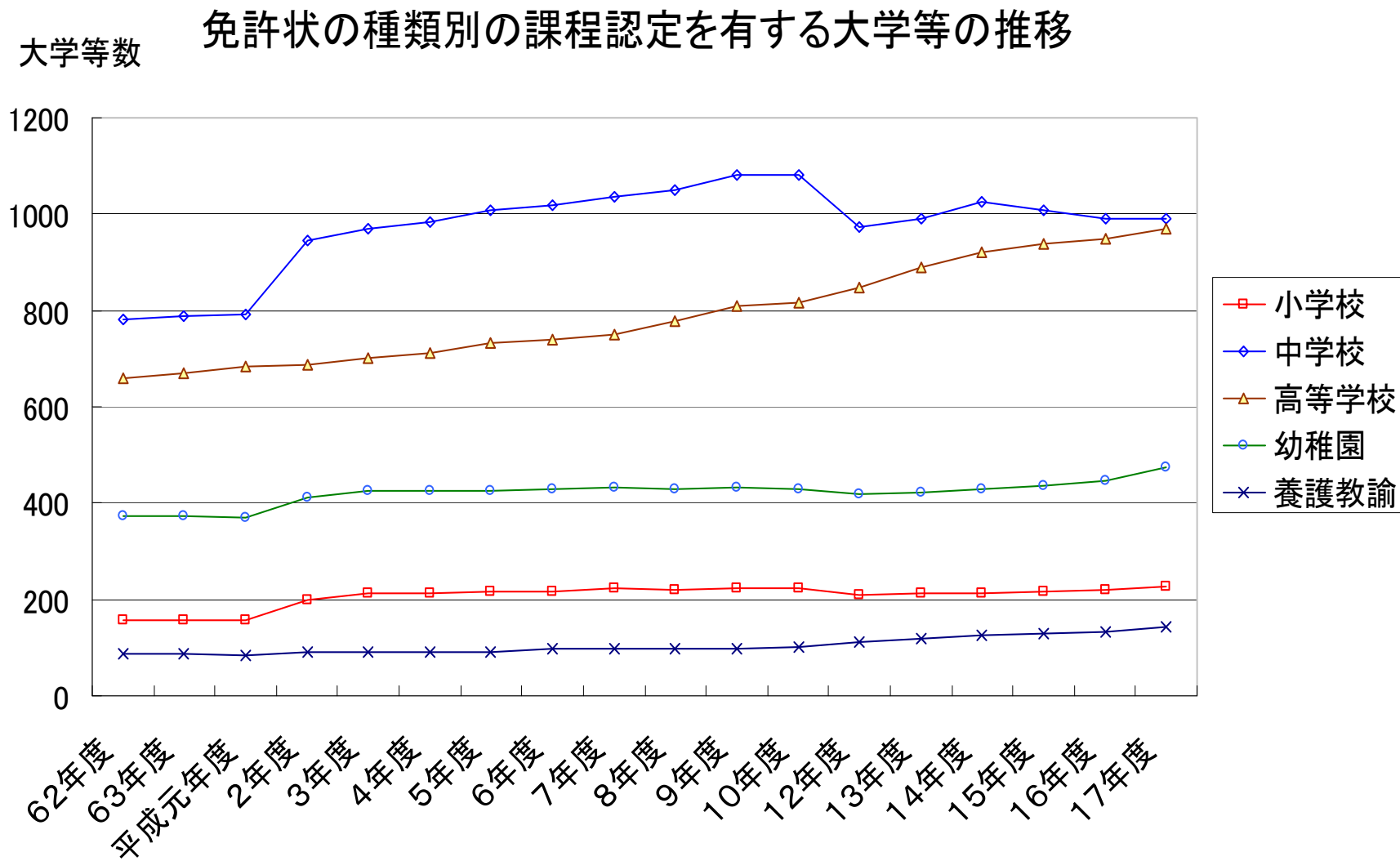
千葉県	4. 1倍(3. 9)
滋賀県	4. 2倍(6. 1)
さいたま市	4. 7倍(4. 7)
川崎市	4. 7倍(4. 6)
名古屋市	4. 9倍(4. 9)
大阪市	4. 9倍(2. 9)
新潟県	5. 5倍(8. 1)
岐阜県	5. 5倍(5. 4)
愛知県	5. 5倍(5. 9)
新潟市	5. 5倍(—)

【倍率の高い都道府県等】

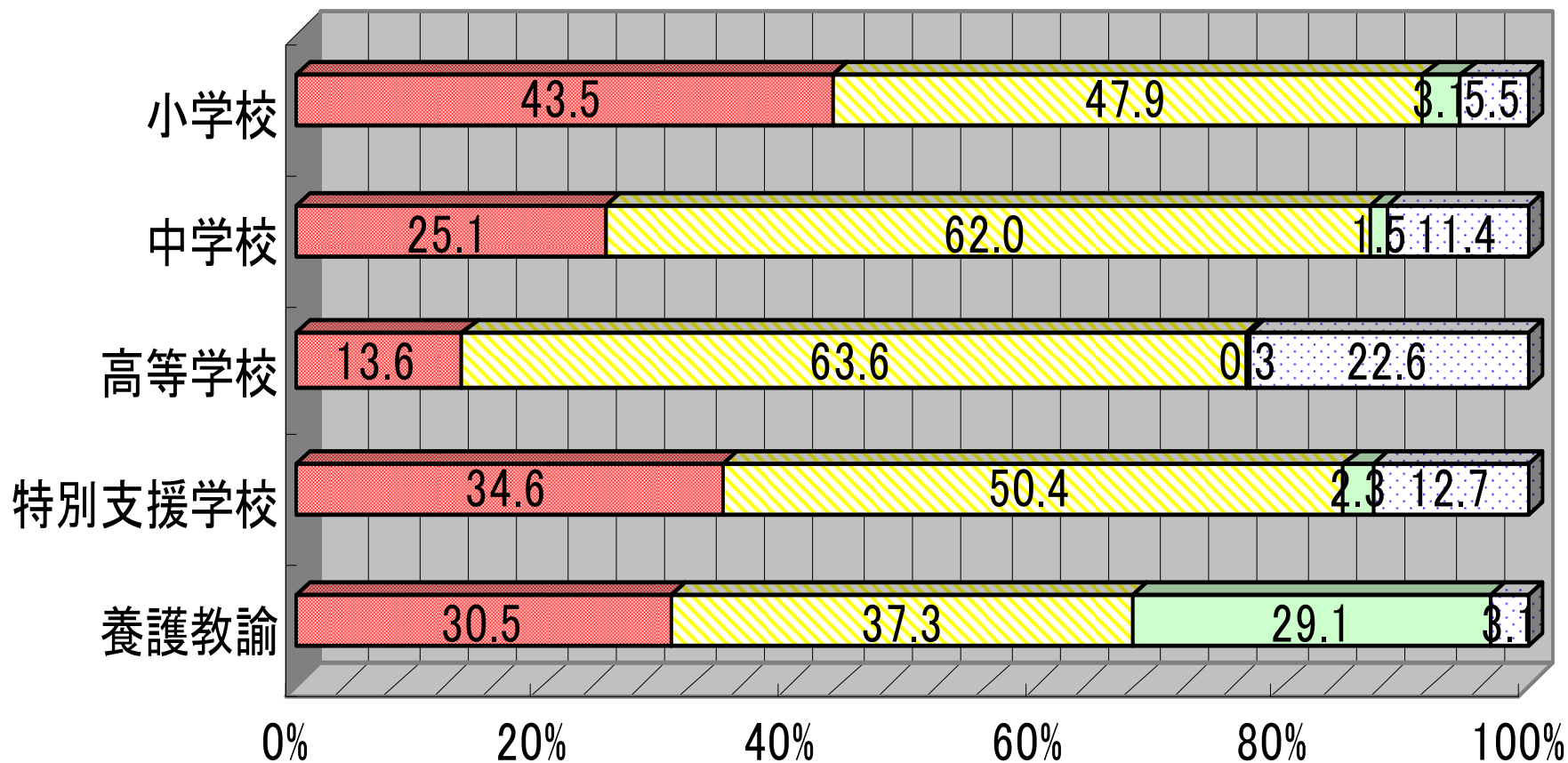
高知県	23. 0倍(31. 1)
岩手県	20. 6倍(16. 5)
秋田県	20. 4倍(17. 4)
鳥取県	18. 3倍(7. 9)
沖縄県	17. 9倍(17. 5)
福島県	16. 3倍(14. 8)
山形県	16. 0倍(14. 6)
大分県	16. 0倍(17. 8)
青森県	13. 4倍(16. 0)
徳島県	13. 1倍(16. 6)

近年の課程認定の動向

- ・受験生の資格取得志向 → 全般的な増加傾向
- ・これまで横ばいだった幼稚園教諭、小学校教諭養成課程も増加

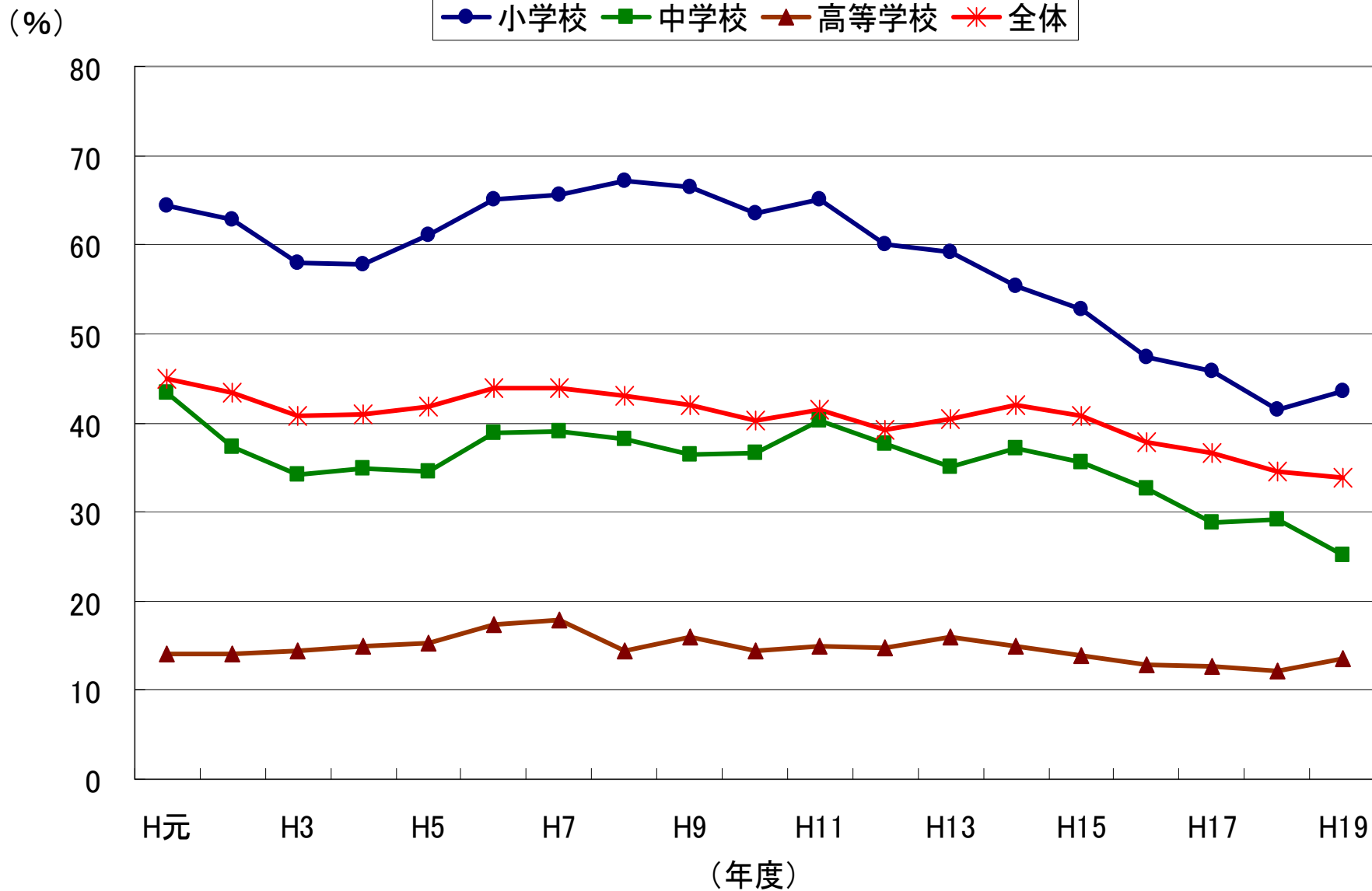


公立学校教員採用における養成機関別構成(平成19年度)



■ 教員養成学部
 ▨ 一般大学
 ■ 短期大学
 ■ 大学院

公立学校教員採用における国立教員養成大学・学部卒業者の占有率の推移



公立学校教員採用における大学院卒業者の占有率の推移

